

おがわ

議会だより
チェック・アンド・バランス

Proud!
Japan



No. 67

2013.5.1

防災・減災すすむ！

町民の声を町政に 11人が一般質問 P.9

写真：万葉まつり、のらぼう菜サミット、はつらつ朝市同時開催会場にて

防災・減災 すすむ!

小中全校が耐震完了! 避難所としての活用も



平成26年3月
西中学校 完成!

事業費は24年度予算を 繰り越し

西中学校完成予想図

平成25年度一般会計予算

89億5000万円

重点事業

電気自動車の導入 66万円



公用車(4年リース)

新見

住宅用太陽光発電設備設置補助 100万円



1世帯当たり上限5万円の補助

新見

町道228号線(254バイパス迂回路)道路改良工事 300万円



平成25・26年度予算で完了予定

新見

栃本親水公園整備 4151万円



拡張し、多目的広場を整備

ファミリーサポート事業の拡充 231万円



病児・病後児サポート事業を開始

新見

平成25年3月定例会
3月4日~25日

議会からの要望を取り入れて

①木質化

長期間使用していく上での耐久性や安全性、さらに保守管理の容易さを考慮し、可能な限り町産材を使用した木質化を計画しています。(廊下・壁や天井、家具の一部)

②防災機能

避難所としての機能を高めています。具体的には、太陽光発電及び自家発電機器(持込)接続可能な設備の整備による電源の確保、受水槽貯蔵水が利用できる設備の整備、マンホールトイレ(持込)対応汚水処理の設置、大型ガス貯蔵設備の設置を計画しています。

③業者選定

業者選定は、技術・資本力の高い業者(大規模かつ高度な技術を要する工事であるため)と、町内もしくは比企圏内の業者(長期間使用していく上でのメンテナンス等に迅速な対応ができる)による共同企業体を選定します。

④敷地利用

現管理棟跡地については、学校関係者向けの駐車場を考えています。なお、現体育館跡地については、現在、未定です。学校としての機能充実を図れるよう検討を重ねていきたいと思います。

平成25年第1回定例議会は、平成25年度一般会計をはじめ各会計予算、平成24年度補正予算、比企広域市町村圏組合の規約変更ほか、条例の一部改正と制定・廃止、人事案件など39議案を審議し、すべて可決・同意しました。一般質問には11人が登壇し、町当局と真剣なやりとりを行いました。

《主な質疑》

問 電気料金の値上げなどについて、町として対策を持っているか。

答 学校や役場など20施設では、特定の電気会社（PPS）から購入することにより、総額で500万円以上の電気料金の減額が見込まれます。

問 公民館や町民会館に洋式トイレを増設することは、住民はもとより観光客を誘致するために、公衆トイレの増設（洋式・多目的トイレ）は考えないのか。

答 大河公民館に洋式トイレを新設します。公民館や町民

会館の洋式トイレを増設する計画は現在ありませんが、中央公民館については、今後の大規模改修時に考えます。今後、ユネスコの文化遺産登録関連で、観光客などが増えてくるがあれば、対応も必要かと考えます。

問 救急情報シートの配布を
導入する目的は。

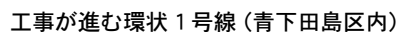
答 高齢者のひとり暮らしの方の救急車の搬送時間の短縮に役立てます。比企管内で統一したシートを購入し、(情報等を記入した)シートをビニール袋に入れて、冷蔵庫に磁石で張るということで現在進めています。

問 前年度と比較して、自主財源が増えているが理由は。

答 税収を確保するために①コンビニ収納を開始 ②特別収納対策室を活用 ③国・県の補助金の確保で収入増を目指すしています。また、公有地売却など、財産収入の増加もあります。

問 区長の主な仕事内容は、報償費について、削減などの動きがあると聞いたが。

答 区長は、非常勤の特別職で、町内会の代表と町長の委嘱という2面性があります。道路愛護や社会福祉協議会への協力、町の発行する広報などの配布などをお願いしています。区長報償費については、平成25年度は条例化を進め、



環状1号線の延伸や課題も

問 環状1号線の延伸はどうなっているのか。

答 現在、青下田島区内を工事しています。平成25年度に郵便局の用地買収をして26年

度に工事に入る予定です。用地買収は計画の70%が終わっています。平成25年度は青上区内の用地買収を行います。また、槻川に橋をかけるために橋梁の詳細設計に入り、予算がつけば腰越地区の用地買収を行ない、最終地点の用地

買収が終わり工事に入るのは、平成28年度になる予定です。

問 環状1号線仙元彩雲橋あたりで自転車道をあらわすブルーの線がなくなっている。危険ではないか。

答 自転車専用帯をつくる計画がない道路でしたが、サイクリングロードを整備するという県の施策の関係で、歩道側に青いラインを入れて自転車専用帯としています。しかし、道路幅の関係で実際は途中で切れています。危険がないように事後処理をしてもらうよう、県には要望しています。

問 歩道側に街路樹が植えてあるが、視覚が遮られたり、落ち葉や落ちた木の实などで道路が滑ったりして、危ないのではないか。

答 現在は、歩道に街路樹を植えない道路設計をする方向になってきています。街路樹の種類を変えることや植樹しないことなど、地元のご意見や警察や県土事務所と協議し、県に要望していきたいと考えます。

37 行政区で実施している花いっぱい運動（鶴巻公園）

据え置きますが、分配方式の変更など、平成26年度の改正

に向けて協議していきたいと
考えます。

問 「学校生活サポート事業」

は、いじめ等の現場の課題解決のため国が予算化したもので、従来の県「いきいきプラン」の内容が予算増額・充実していく内容だと理解している。

国の基準や制限に縛られることなく、各学校の計画に基づき、町の予算を加えても十分な制度にすべきと考えるが。

答 学校現場から、「支援員の日数を増やしてほしい」と

いう強い要望が従来から出ていました。現場のニーズにあった内容にしっかりとしていきたいと考えます。

問 駅前広場の整備のための予算が計上されていないが、実効性はあるのか。

答 測量は終了しており、図面関係はつくつてあります。が、都市計画決定の変更が必要となるので県との調整を図っています。今後、協議を進めていきたいと思います。

(千円単位四捨五入)

平成25年度

特別会計予算

■国民健康保険

問 給付費（医療費の支払い額）が、昨年に比べ8053万円減額になっているが。

答 保険料を含め、歳入の増額が見込めない中、減額せざるを得ない状況です。

問 町の法定外繰り入れ（町の予算から、法律で定められた割合以上に、国民健康保険会計にお金を入れること）をもっと多くして、保険料の減額や減免の割合を上げるべきでは。

答 本来、法定外の繰り入れがないのが理想です。町の一般会計も厳しい状況にある中、コンビニ収納やジェネリック医薬品の利用の推進など、収納率アップや、医療費削減の努力もしつつあります。

問 特定健診の受診率が向上しないが。

答 医療費の増大を抑えるためにも、特定健診の受診率向上は欠かせません。年々数値は少しずつ上がっています

が、23年度の結果では30%弱で、目標の半分にも達していません。地域を決めて、協力をいただきながら向上を進めていきたい。

■介護保険

問 訪問介護単位時間が、平成24年4月から20分単位になり、サービスの低下になっているという声も聞かれます。

答 介護報酬として、金額の大きな変動はなく、混乱もないと受けとめています。

問 家族介護支援としての紙おむつ支援費は、24年から月5000円が3000円になり、今回の予算も昨年より40万円近く減額になっているが、十分な支援といえるのか。24年度の実績に基づき、

予算計上しました。

問 基金の取り崩しによって、保険料の軽減や、減免の拡充は。

答 介護保険料は3年ごとの見直しで、3年間の給付費を見込んで保険料が改定されます。その間の見直しはできず、3年を通しての計画的な運営、基金の活用が重要になります。単年度だけで基金の繰り入れの増減を判断するのは、危険があります。

問 居宅介護を支援するボランティア制度の早期導入を。

答 元気な高齢者の方の生きがいづくりや、商工連携による「地域支えあい事業」の仕組みも含めて、研究していきたい。

問 認知症家族の支えや、認知症サポーターの積極的な養成を。

答 24年度では、78名の方が認知症サポーターになってく

だしました。今後も積極的に講習会を開催し、認知症への理解、家族の支援の体制をつくっていきます。



■下水道事業

問 小川町生活排水処理基本計画の今後は。

答 新しい基本計画の策定に入り、28年度からその計画で進めるよう準備してまいります。

■農業集落排水事業

問 高見・能増地域の農業集落排水整備はどうなるのか。

答 計画としては農業集落排水の整備を進める方向になっていますが、予算の問題など、いつスタートできるかは未定です。

■水道事業会計

問 水道水の放射能調査にかかる費用は、東京電力に要求しているのか。

答 東電からの請求基準が届いており、それに基づいて請求しています。2回に分けて、合計140万円が振り込まれています。今後も水質調査費等、基準に基づいて、しっかりと請求してまいります。



すたむちゃんのひとひめそ

コンビニ収納
送られてきた税金や公共料金などの請求書で、自分の好きな時間に最寄りのコンビニエンスストアで支払うこと。住民にとって支払いの利便性が高まる。

ジェネリック医薬品
後発医薬品。特許の切れた薬を別の会社が製造販売。値段が安いので本人負担が減るだけでなく、医療費抑制にもつながっている。

平成24年度

補正予算

利用減の要因は老人会の解散

問 パトリア・公民館の利用料が減少しているが、その原因は。何を求められているのか、ニーズに合っていないのではないか。

答 常連の団体が利用しなくなったことが大きな要因です。平成24年度に6地区の老人会（274人）が解散したこと、老人会の新規入会者が減り、高齢化しています。県は、10年後に高齢化すると言っていますが、町では10年早く高齢化が進んでいます。アンケート等により再検討します。

国の大型補正にどう対応

問 国は13兆1000億円と大きい補正だが、政府と関連性をもって、どのように対応していくのか。

答 町は政策推進課を中心に対応していきますが、重点的に取り入れるべきものは、積極的に各課で対応していきます。

平成25年2月19日開催

臨時議会

請負業者への前払いは

問 町道228号線（254バイパス迂回路）道路改良工事について、分割発注することにより、地域経済の活性化に大きな効果がある。また、変更契約とのことだが、前払いの検討は。

答 分割発注の際、請負業者へは、請負金額が1億197万円と大きいこともあり、前払いを予定しています。

西中改築どこまで対応

問 西中学校改築関連で、防災を含めた改築として、議会では4項目の要望を出したが、どのあたりまで対応してくれるのか。

答 「校舎の木質化」「校舎の防災機能」「請負業者で地元業者の活用」は、現在内容について取り組んでいるところです。

庁舎の耐震診断結果は

問 耐震診断の結果、議場が対象となっているようだが。

答 議場が強度不足とのこと。天井と屋根部分と議長の後ろの壁などです。屋根・壁の落下防止ブレース、アンカーボルトの増設工事を行っています。



最終補正で

総額 168億 8902万円

一般会計 101億 1844万円

特別会計 67億 7058万円

国民健康保険	35億 3023万円
後期高齢者医療	3億 2393万円
介護保険	22億 1599万円
下水道事業	6億 2862万円
農業集落排水事業	7181万円

（千円単位四捨五入）



町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、11人の議員が一般質問を行ないました。

ごみ・し尿処理・消防・救急・斎場等の議会報告

◎比企広域市町村圏組合

(消防・救急業務、斎場の管理運営、介護・障害審査会)

平成25年度第1回広域議会定例会が、2月20日東松山市議場で開催されました。

議案は17件。うち歳入歳出予算は、一般会計8500万円、消防会計35億500万円、斎場及び霊柩自動車事業会計1億1600万円、介護及び障害程度区分審査会計8200万円。すべて原案のとおり可決されました。

なお、当町に関係する主な事業としては、消防会計の中で小川消防署旧庁舎解体工事費4720万円、小川消防署はしご車購入費1億1230万円が計上されました。補正予算については、一般会計、消防会計、介護認定及び障害程度区分審査会計合計で45万6000円の減額で、可決されました。

・・・・・・・・・・・・・・・・

◎小川地区衛生組合議会(ごみ処理、し尿処理)

去る2月21日に小川地区衛生組合議会の平成25年第1回定例会が開催され、平成24年度の補正予算や平成25年度予算など12議案が全員賛成で可決されました。

補正予算 950万円の追加

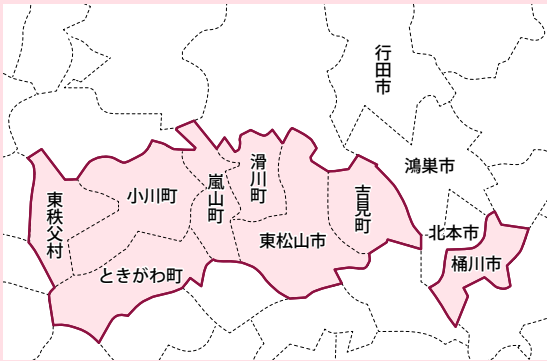
24年度予算の総額は、13億7902万7000円となりました

平成25年度の予算額は、13億932万1000円で、使用料や繰越金などを除くと構成町村の負担金は10億8986万円になり、このうち当町は、し尿処理関係で9212万4000円、ごみ処理関係で3億461万8000円の約3億9700万円を負担します。

ごみ焼却場建設はどこへ！

枠組みは新しい一部事務組合をつくって

また、一般質問では、ごみ焼却施設の老朽化を鑑み、早急に対応すべきであり、今後の施設建設について考えを問いましたが、「現在の構成(小川・嵐山・滑川・ときがわ・東秩父)町村で新ごみ焼却施設を建設するのではなく、新たな枠組み(東松山・吉見・桶川を含めた)の8市町村で検討する」との答弁でした。



新たな枠組みで検討

審議議案と議員の賛否

議 案 名	議 員 名																審 議 結 果
	柳田多恵子	井口 亮一	高瀬 勉	島崎 隆夫	柴崎 勝	山口 勝士	高橋さゆり	大戸 久一	金子 美登	松葉 幸雄	宮澤 幹雄	根岸 成美	小林 一雄	大塚 司朗	戸口 勝三	松本 修三	
第 1 回定例会																	
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新型インフルエンザ等対策本部条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道の構造等の基準を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町が管理する都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町営住宅管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
災害対策本部条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
土地開発基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
難病患者見舞金支給条例の廃止	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
比企広域市町村圏組合の規約変更	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度一般会計補正予算（第 6 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 25 年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
平成 24 年度一般会計補正予算（第 7 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第 1 回臨時議会																	
実費弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決
大字高谷地内 町道 228 号線道路改良工事（2 工区）請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決
平成 24 年度一般会計補正予算（第 5 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決
議会議政務活動費の交付に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決
議会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決
議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠 可決

※ 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対)
※ 臨時議会では、議長が欠席したため、山口副議長が議長の職務を行ないました。

職員の育成

挑戦する職員を数多く生み出すには

能力開発をし、意欲を引き出します

真剣に考えてほしい



松葉幸雄 議員

この認識を示していきま
す。経営に当たつての
ポイント、人材をい
かに育成し、活用す
るにかかっているとい
う点で、議
員と認識は
全く同じで
す。いかに
優秀な人材
を採用して
も、その能
力開発を行
なわない限
り、組織の
活力も激減
です。研修
の充実も含
め、多岐の
分野にわた
り、自主性
を重んじな
がら、常に
住民の立場

質問 当町役場も「町民の役に立つところ」という組織の原点に今一度立ち返り、コスト意識を持たせ、給与相当分をフルパワーで顧客（住民）に向けて仕事をしてもいい。いわば「自治体プロ」の自覚を持たせるとき、今以上の住民サービスができるのではないかと。国の

答弁 総務課長 町においては、地域経営・組織経営の視点が欠かせない

下請けではなく、独立した地方政府として自己決定・自己責任の原則で経営を行なう。自治体の担い手である職員への期待はそこにあるのではないかと。今後の職員育成ビジョンについて伺う。



新人職員研修

他の町におくれをとるな！

安全・安心の取り組み

国の交付金の積極的活用で、町の安全・安心を

25年度の補正予算で対応していきたい



山口勝士 議員

質問

国の24年度補正（15ヵ月予算といわれるが）では、地方がお金がなくてなかなか取り組めなかった安全・安心対策分野、例えば古い橋梁のかけかえなどの取り組みを後押しする交付金になっている。町はどのように対応していくのか。

答弁

政策推進課長 地域経済の活性化や防災対策、安全・安心の確保などに有効な交付金と考えています。要件や交付額を見きわめながら、具体的な検討に入り、25年度補正予算として対応し

町民の皆さんが頼りです

地域の支え合いの仕組み

ボランティア精神の醸成と共助社会の構築は

地域を核とした各種の活動が展開されています



高瀬 勉 議員

質問

県が推進する「地域支え合いの仕組み」の導入は、

答弁

政策推進課長 昨年末、県の県民生活部共助社会づくり課から担当職員を招き、商工会・社会福祉協議会・関係各課の出席のもと、説明会を開催しました。本事業については、既に実施している県内自治体の制度の仕組みや課題等をかんがみ、関係団体と協議を重ねながら実施に向けて取り組みま



若者によるボランティア活動

質問

住民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進める「まち美化アダプト・プログラム」の導入は、

答弁

政策推進課長 当町における清掃美化活動の取り組みは、まち美化アダプト・プログラム制度とはスタイルに差異はあるものの、趣旨は各行政区のもとで確立されていると考えます。

質問

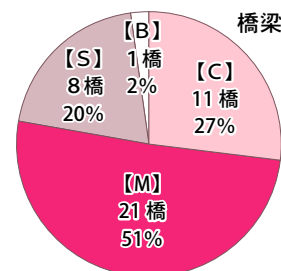
当町が主催する各種イベントに、協力をいただく応援隊の立ち上げは、

答弁

政策推進課長 各種事業を開催する場合には、運営を取り巻く協力団体が既に存在しており、改めて応援隊を立ち上げる考えはありません。しかし、運営方法等、さらに創意工夫すること、開催事業への参加者や協力者を増やしていくものと考えま

ていきたいと考えています。

橋梁の点検結果による今後の対策区分



区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要はない
B	損傷が確認され、状況に応じて補修を行う必要がある
C	速やかに補修等を行う必要がある
M	維持工事に対応する必要がある
S	詳細調査の必要がある
E	安全性の観点から、緊急対応の必要がある

女性と子どもの命を守る、防災力育成を

質問

「女性防災力アップ講座」のような女性向けの講座の実施はどうか。また要援護者としての妊婦や小さなお子さんを抱えた女性の皆さんも、地域の応援・援助が必要になる。そうした

質問

高齢者に進む高齢者の交通手段についてどのような構想を持っているのか。

答弁

政策推進課長 行政・地域・企業等、役割を担い合うことが求められます。研究していきたいと思

答弁

総務課長 震証から女性の観点での各種課題や要望も明らかになってきています。今後、女性会員が200名を超える日赤奉仕団や昨年4月に誕生した女性消防団員などの意見交換を通じて、女性向け講座のあり方や子育て中の女性防災講座も検討していきます。

高齢者の交通手段

質問

高齢者に進む高齢者の交通手段についてどのような構想を持っているのか。

答弁

政策推進課長 行政・地域・企業等、役割を担い合うことが求められます。研究していきたいと思

ごみ焼却施設

広域化によるごみ焼却は非効率では

効率的な運用方法を協議していききたい

「新施設」早期建設に
全力で取り組みたい！



井口亮一 議員

合を立ち上げようとするのか。

答弁 環境保全課長
小川地区衛生組合では、管内に新施設を建設する努力をしてきた経過があり、具体的な候補地も何度か検討してきましたが、破談となりました。その後候補地も見つからず、管内では新施設の建設は考えられないという結論に至ったと聞いています。

質問 小川地区衛生組合のごみ焼却施設をはじめ不燃物処理施設などは、操業から36年が経過し、老朽化は著しく新施設の建設は急務だ。そうした中、なぜ町は8市町村によるごみの共同処理を目指す一部事務組合の広域化は当

質問 8市町村による広域化は当



小川地区衛生組合焼却場

答弁 環境保全課長
ご指摘のようない心配は予想されますが、町としても工夫をしながら効率的な方法を模索したいと考えます。新施設についても、スケールメリットを生かし、より効率的な建設・運用を協議していきたいと考えています。

質問 中心的役割を果たす覚悟は。施設建設の見通しは。

答弁 町長 吉見町長は7年以内と答えられましたが、それより早期に実現するよう、全力で取り組みたい。

「子どもが病気のときに
どうしよう」の心配事が
一つ解決！



柳田多恵子 議員

子育て支援

病児・病後児保育の実施を

7月から実施する準備をしています

質問 子育てを応援するために①日曜・休日保育 ②一時保育の増設 ③病児・病後児保育の実施を。

答弁 子育て支援課長
①保護者の切実なニーズを正確にとらえながら、今後検討を進めます ②施設の増設や合同保育を実施し、場所の確保などを検討しています ③対象は6カ月児〜小学校6年生まで、預かり料金は1時間700円、2人目からは半額です。ファミリーサポート事業（会員制）



安心してお仕事を

日赤の建て
かえ支援は
どう進んで
いるのか

質問 協議会のメンバー構成は。利用者あるいは地域住民の要望や意見が反映される場をつくることは。協議の進捗状況など、定期的に住民と議会に情報公開する必要があるのではない

答弁 政策推進課長
現在参加の承諾をいただいているのは小川町（会長）・寄居町（副会長）・嵐山町（副会長）を含め13市町村です。構成市町村の担当課長からなる幹事会を置き、当町が事務局となつていま

を上げ、最短で7月から実施する準備をしています。

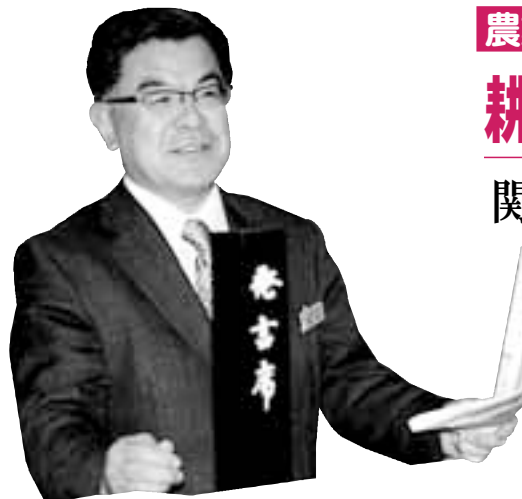
や財源措置、埼玉県への支援要請などについても協議を進めています。日赤関係者もオプザーバーで参加します。「施設・設備などの整備」「医療体制の充実」「病院の対応・サビスの向上」などの意見・要望の集約、また取り扱い方法など幹事会において協議します。情報提供の方法等も含め、参加市町村と歩調を合わせながら随時報告していきます。

農地を活かして、若い人が
集まるといいけどなあ

農業問題

耕作放棄地の活用法と地域活性化の方策は

関係団体と連携し耕作放棄地の解消を図っています



根岸成美 議員

答弁 産業観光課長
農地の有効活用のため、毎年農業委員会と合同で現地調査の実施と不耕作地解消の呼びかけを行なつて

質問 現在、農業をめぐって、高齢化問題や後継者不足等、人と農地の問題が指摘され、将来の展望が描けない地域が増加傾向にある。農地の現状に注目し、耕作放棄地の解消や有効活用等、具体的な調査研究、積極的な取り組み事例や方策についての状況は。



活用が待たれる耕作放棄地

います。農業振興連絡協議会等関係団体の協力を得て、農業経営基盤強化促進法による農地利用権を活用した耕作放棄地の解消を図っています。

質問 新規就農者、地域への担い手に対して、空き地や空

き農家住宅の情報を募集し、一元管理やリスト化に取り組み、登録制度を創設することは、高齢化の進む中、山間地域等の地域活性化策になるのでは。

答弁 産業観光課長
近隣自治体の取り組み状況、大規模な農業生産法人等による解消事例、また関係団体とも意見交換をしながら、引き続き情報の収集と研究を行な

たいと考えています。

文化財の保護

下里割谷採石遺跡について

国の史跡指定に向け有効的に保護していきます

ふるさとの中世にインドのサンスクリット
まで読み解く頭脳・技術集団がある



金子美登議員



発見された板碑未成品

質問 昨年、教育委員会が、下里地区関係者に「割谷採石遺跡」の現地説明会を開催。全体が一望できる現場で、改めて歴史的・文化的な重要さを認識させられた。そこで、①この地が中世までさかのぼるということだが ②遺跡としての登録は ③文化財認定や保管は ④板碑製作にかかわる集団や工房はどこに ⑤今後の保存・保護については。

答弁 生涯学習課長 ③までは一括で答弁します。板碑は鎌倉から戦国時代の中世までにつくられた供養塔婆の一種です。平成19年に割谷の採石地で研究者によって板碑

未成品が発見され、この地が中世までさかのぼることが証明されました。以後、町は採集資料を受領、警察署に埋蔵文化財発見届を提出し、埼玉県埋蔵文化財の認定を受けました。埋蔵文化財包蔵地調査カードを提出し、遺跡の登録手続を終了、旧腰越分校に保管し、確認調査報告書作成のために整理中です。④専門の石工集団の存在は、地元または周辺の可能性が高いと思われる、確認や情報収集に努めます。⑤割谷採石遺跡は文化財関係者や板碑研究者から高い評価をいただいています。国の史跡指定が割谷採石遺跡の最も有効的な保存や保護につながるものと考えています。

町のお年寄りが
待っているのになあー

高齢者支援

急激な高齢化が進む中、高齢者の外出支援策を

住民意識調査の結果を踏まえ、研究していく



柴崎 勝議員

質問 お年寄りが病院への通院や買い物などで外出する際の支援策は。

答弁 政策推進課長 中、住民意識調査の結果を踏まえ、あらゆる角度から研究していきたい。

質問 以前、当町でもタクシー券の交付をされたことがあったが、ひとり住まいや夫婦のみで生活している高齢者、そして、今は車の運転ができても、近い将来運転ができなくなるときのことを考え、不安に思っ



住宅のバリアフリー化

ている人は数多くいる。このような人たちが通院や買い物などで気兼ねなく外出できるよう、手助けとしてタクシー券の復活は考えられないか。

答弁 政策推進課長 タクシー券交付の復活は、今のところ考えていません。

質問 お年寄りに対する住宅供給

の取り組み状況は。

答弁 健康増進課長 介護保険法による、住宅改修費の支給をもつて対応しています。

質問 高齢者等の住宅バリアフリー改修に対する減税措置は。

答弁 税務課長 高齢者等が居住する既存の住宅について、申告により固定資産税が減額されます。

投票率は県内3位なの
すごいじゃん。でも次
は1位目指そうよ



高橋さゆり議員

期日前投票

期日前投票の簡素化を

宣誓書の事前記入は前向きに検討中

質問 期日前投票での宣誓書の簡素化は図れないものか。

答弁 総務課長 昨年の衆議院選挙では期日前投票のみの投票率が11%を超えており、利用者は年々増えています。今後も増加すると予想されます。宣誓書の提出は、公職選挙法で省略することはできません。町では、宣誓書の様式をホームページからダウンロードする方法と、入場券の裏面にあらかじめ印刷する方法を検討しています。

今年の参議院選挙から実施が可能であり、前向きに検討していきたいと考えております。

学校給食について

質問 給食のアレルギ対策について、当町の現状は。

答弁 学校教育課長 学年の初めに、全ての家庭に具体的な食材名を保健調査票に記入いただき、養護教諭が給食センターの栄養教諭に報告しています。該当児童・生徒の保護者に対して、給食の献立に含まれている食材の成分表を事前にお知らせし、アレルギーとなる食材についてはアレルギー対策として、アレルギー対策について情報提供しています。保護者に当日の給食を食べさせるか判断してもらい、必要に応じて代替食を用意していただいています。

その他の質問

◎公共施設の老朽化
◎住民サービス



学校給食センター

防災対策

町民の皆様が確固たる裏づけのもとで安心して暮らせる町を目指して

安全・安心して暮らせる町づくりを推進していきます

被害の想定を高く設定して計画してほしいな

質問

防災意識の向上と有事の際の備えという観点から、①地盤災害の予防と交通ネットワークの整備について ②河川砂防及び治山施設の安全化について ③27カ所の避難所と新規設定について。

答弁

建設課長他
①土砂災害防止法に基づき周知を図り、非常時の情報提供や迅速な避難体制を構築します。また、アク

島崎隆夫 議員

質問

①自主防災組織と自主防犯組織づくりの進捗について ②防災行政無線の利用の多様化について ③防犯カメラ設置について。

答弁

総務課長他
①自主防災組織は28行政区。自主防犯組織は1103名が登録 ②放送目的や必

災害時医療拠点「日赤」を視察勉強してきました

要性、効果を十分検討した上で放送します

③町が設置することは地域住民の要望や心情に配慮した上で真に必要な場合のみであると考えます。

質問

空き家対策について①町が考える空き家の数は ②苦情等により、ここ2年で講じた対応と成果は ③今後の対応策は。

答弁

環境保全課長
空き家の定義はありませんが、町水道の休止件数は2030件です ②所有者に対して文書や口頭で指導や助言をし、2年間で6件の解決をしました ③小川町環境保全条例の規定に基づき対応していきます。

いつやるか？
いまでしょ！

戸口 勝 議員

質問

日本人の平均寿命は男性79・44歳、女性85・90歳であり、2020年の埼玉県老年人口割合は28・9%。当町は35・8%と予測されており、県内5位に順位づけされている。このような状況を見据え、今後どのように取り組むのか。また、栃本親水公園から延びる遊歩道が仙元山見晴らしの丘公園を結び、さらに兜川へと分岐する遊歩道があったら、皆さんどれだけ歩きたくなくなるのか。きつと歩き続けたくなくと思う。

健康づくり

何をしていてもまずは健康

住民参加のネットワーク構築が必要です

このように、自主的に歩くことで偶然の出会いがある。こんな社会整備の計画を国では推進しているが、町ではどうか。

答弁

健康増進課長
ご指摘のとおり推移し、同時にひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯増加が考えられ、家庭内介護力の低下も予測されます。さらに高齢化と家族による介護力の低下

により、介護保険給付の増大が予想されます。そこで、住民参加の健康づくりネットワークの構築により、地域の介護力強化が必要と考えています。所管だけで解決するには大きな問題ですので、町として各課と協議して研究してみたいと思います。

その他の質問

◎ふるさと支援隊

町民みなさんのひろば

わたしのひとこと



社会人から地域人へ

くろは かずこ
大塚三区 黒羽和子



心をいやしてくれる桜並木。知る人ぞ知る名所「仙覚律師遺跡」は、隠しておきたくなるほど美しい桜吹雪です。

このあたり一帯は数年前に整備され、うっそうと茂っていた木々がすっかりとし、名所と成り得る場所に生まれ変わりました。

大梅寺に向かう桜並木の道路にレンガを敷き詰めれば、車も遠慮してゆっくりと通り、お花見ができる道になることでしょう。

この地区のいいところは、風景ばかりではありません。住民の方の温かさです。

母は老人会を楽しみにしています。区長さんをはじめ、何人かの退職された男性の方が世話役を買って出て、いろいろ工夫をし会を盛りたててくれているようです。さすが社会でもまれた男性陣は頼もしい。先輩方を見ていると、第2の人生が楽しみでもあります。

高齢化社会の地域協同作業に一考

かん だ はるお
木部 神田治雄



最近、地域協同作業が非常に多くの問題を抱えていると強く感じています。例えば、木部区では町のモデル地区として、資源ごみの分別を立ち会いで行なっています。しかし、町全体の盛り上がりの欠如、地区の人々の加齢、冬の寒い朝の長い立ち会いによる健康面への影響等を考えた場合、続行を断念したいというのが私の考えです。

道路愛護や河川清掃などについても、別の問題があります。本来やむを得ない事情により参加できない人の救済措置を逆手にとって、協力しない人も見られますし、年老いた人が無理しているのではないかとこの姿も見られます。神社等の祭事や寺の行事等も、同様の問題点があるように思えます。

ありふれたひとり言かも知れませんが、若者が老人をいたわり、積極的に地域社会の協同作業に参加してくれることを望みます。



栃本親水公園から伸びる遊歩道

我が町再発見 鬼ヶ谷津 ホタルと花の散歩路



レンゲの種まき風景

鬼ヶ谷津は、みどりが丘から八和田へ抜ける町のハイキングコースになっています。私たちは数年前からこの谷津のホタルの保護や、休耕田に子供会と一緒にレンゲの種をまいたり、環境保護に取り組んでいます。

対象となる田んぼは1万6,000平方メートルと広く大変ですが、地域の役員・ボランティアの皆さんが、年に数回の草刈り・耕うんをし、管理しています。春はレンゲ、夏はホタル、秋は田んぼの土手に咲く彼岸花と、四季を通して楽しめる散歩路にしたいと思っています。まだ道半ばですが、夢は膨らんでいます。



やまぎしゆきお
前高谷区長 山岸幸男



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑦

国民の生命・財産の保護、社会公共の安全・秩序を守る

小川警察署・駅前交番

現在の小川警察署駅前交番は、平成4年4月1日に開設されました。勤務体制は、2人1組で24時間勤務の3交代制、日中は、できる限りだれかいられるよう、交番相談員2人の計8人で行なっています。普段は交番の大きな役割の1つとして、駅を中心とした小川町の中心部を巡回パトロールし、犯人の検挙、犯罪の抑止力として大いに活躍しています。

また落し物や道案内を含め、犯罪のない、安全・安心のまちづくりのために、住民の頼りになる交番を目指し、24時間体制で対応しています。今回小川駅前交番へ転勤後間もない警察官にインタビューさせていただきました。



Q 嬉しかったことは

A 被害に遭った人への、その後のフォローに対し、お礼の言葉をいただいたとき。

Q 辛かったことは(残念だったこと)

A 最善を尽くして駆けつけたにも関わらず、雪・台風・他自然条件のために遅れてしまった際に「遅い、何をやってるんだ」と言われ、理解を得られなかったとき。

Q 驚いたことは

A 静かな町だと思っていたが、火災・死亡事故等、出来事

が多く、いろいろな人に接する機会が多いこと。

Q 町民の皆様メッセージ、伝えたいことがありましたら

A いつどこで、事故・事件に遭うか分からないので、各種ケースをシミュレーションして、そのときの対応の仕方を家族で話し合っておいてほしいです。

【振込詐欺・交通事故時等、この機会に今すぐ家族で話し合ってみてください】

担当：大戸久一

編集後記

例年に比べ、一足早く桜の開花を迎えた今春。いよいよ花粉症デビューをしてしまいました……。

4月生まれということもあり、四季の中では春をこよなく愛していた私。こんなにも春の訪れが待ち遠しくない年も初めてでした。

花粉症と編集作業に奮闘したこの議会報が、皆様のお手元に届くころ、世間は連休の真っただ中。有意義かつ充実したGWをお過ごしいただき、また明日への活力にしてください。

編集委員 高瀬 勉

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

議会だより おがわ No.67

小川町議会だより 67号

平成25年5月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo

議会広報発行特別委員会

議長	松本 修三
委員長	柳田多恵子
副委員長	山口 勝士
委員	小林 一雄
委員	柴崎 勝
委員	大戸 久一
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会の開会予定は

6月4日(火)です